

令和8年度 学校評価自己評価表

令和8年4月30日

廿日市市立平良小学校

中期経営目標		短期経営目標	分掌	目標達成のための方策	評価項目 指 標	目標値	中間	最終	評価	結果と課題の分析	コメント	改善方策
確かな学力	主体的に学ぶ児童の育成	学びに向かう意欲があり、基礎的な学力が定着している。 【重点項目】	教務	児童が自分の課題と向き合い、見通しを持って学習に取り組むような活動の充実を図る。	【基礎的な学力の定着】 学期ごとの全てのテストの平均値(国・算)において、75%未満の児童と85%以上の児童の割合	75%未満 15%						
					85%以上 65%							
					【主体性】 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む児童の割合 ①全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙:6年生対象 ②児童アンケート:全学年対象	85%						
				【課題の設定・自己調整】 ①「問いを立てながら学習に取り組むことができた。」と答えた児童の割合 ②「自分の学びを振り返りながら考えを深めることができた。」と答えた児童の割合	85%							
		自分の考えをもち、説明する力が身に付いている。 【小・中学校共通項目】		対話を通して、児童が他者と協働しながら学びを深めるような授業改善を推進する。	【協働的な学び】 「友達との話し合いで、よりよい考えに気付き深めることができた。」と答えた児童の割合	85%						
豊かな心	規範意識を向上させ、友達と高まり合う児童の育成	基本的な生活習慣・学習習慣が身に付いている。 人のためになる活動を通して自己有用感が高まっている。 【小・中学校共通項目】	生徒指導	礼儀や規律など、社会生活で必要な生活習慣の質的向上を図る取組を推進する。	【社会的な生活習慣の質的向上】 「自分から進んであいさつをしている。」と答えた児童の割合	85%						
				「貢献する」ことのよさや大切さを実感できるような活動や評価を充実させる。	【貢献することによる自己有用感の向上】 「みんなの生活をよりよくするために進んで行動することで、人の役に立っていると思う。」と答えた児童の割合	90%						
健やかな体	心身の健康や安全な生活に向けて、考え行動する児童の育成	危険を避け、安全に過ごすための適切な判断力が身に付いている。 心身の健康につながる活動を実践している。	健康教育	デジタルシティズンシップ教育を推進する。	【デジタルの自律的有効活用について】 チャレンジウィズメディアの結果で「自分のチャレンジレベルを3日間以上達成した。」と答えた児童の割合	87%						
					運動することへの意欲向上を図る授業や活動を推進する。 体育委員会を中心に、異学年で遊ぶ機会を設け、多様な他者と関わる機会を増やす。 【運動の能力に関する課題の把握】 「新体力テストの結果をもとに、自分の運動に関する課題を見つけ、目標を持つことができた。」と答えた児童の割合 【主体的に運動を行うこと】 「体育科の授業や大休憩・昼休憩などに進んで運動することができた。」と答えた児童の割合	90% 80%						